愛医発第１６０９号
令和８年８月２４日

各都道府県医師会長　様

第57回全国学校保健・学校医大会担当
公益社団法人 愛知県医師会
会　長　　大　輪　芳　裕
（公　印　省　略）

第57回全国学校保健・学校医大会の事前参加登録期間の延長について

処暑の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、令和８年６月22日付愛医発第888号にてお知らせいたしました標記大会の事前参加登録につきまして、受付期間を下記のとおり延長いたしますのでご案内いたします。
なお、このたび分科会演題が追加となりましたので、併せてお知らせいたします。
つきましては、多くの皆様にご参加いただけますよう、貴会会員等への周知に特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

○第57回全国学校保健・学校医大会
日　　時　令和８年11月21日（土）午前10時～
会　　場　名古屋マリオットアソシアホテル
〒450-6002　愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-4（TEL：052-584-1111）
開催内容　開催要項(案)、分科会演題一覧のとおり
事前参加登録
第57回全国学校保健・学校医大会ホームページより直接お申し込みください。
受付期間　９月30日（水）17：00まで
申込方法　https://school-health57.jp/jizen_sanka/
ホームページトップ ＞ メニュー「事前参加登録」

第57回全国学校保健・学校医大会事務局
愛知県医師会担当（豊田・堀沢・寺口）
〒455-0031 名古屋市港区千鳥 1-13-22
TEL 052-241-4139 / FAX 052-241-4130
E-mail：school57@aichi.med.or.jp

No.3684
08.8.25
愛県医

令和８年度　第57回全国学校保健・学校医大会
開 催 要 項（案）

テーマ：「　君は、君のままでいい ～多様性の時代に生きる子どもたち～　」

日　時：令和８年11月21日（土）10：00 ～

会　場：名古屋マリオットアソシアホテル（愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4　TEL 052-584-1111）

主　催：日本医師会

担　当：愛知県医師会

参加者：日本医師会会員及び学校保健に関係のある専門職の者

参加費：25,000円（懇親会費含む）　※懇親会に参加される同伴者は12,000円

9：00	【受付】	16階
10：00	【分科会】	
	第１分科会「からだ・こころ（１）」	16階　アイリス
	第２分科会「からだ・こころ（２）」	16階　アゼリア
	第３分科会「からだ・こころ（３）」	17階　コスモス
	第４分科会「耳鼻咽喉科」	17階　ルピナス
	第５分科会「眼　科」	16階　サルビア
12：00	【昼食】	（各分科会会場）
	【都道府県医師会連絡会議】	51階　シリウス
13：00	【開会式・表彰式】	16階　タワーズボールルーム
	【次期当番県医師会長挨拶】	
14：00	【シンポジウム】	16階　タワーズボールルーム
	座　長：愛知県医師会副会長	西脇　毅
	愛知県医師会学校保健部会幹事会幹事	大澤　功
	シンポジスト：	
（20分）	①「不登校とその背景」	
	愛知県西三河福祉相談センター児童専門監	吉川　徹
（20分）	②「多様な「性」を生きる子どもとむきあう ～情報社会で、いま、おきている課題とは」	
	名古屋大学大学院医学系研究科　泌尿器科学教室助教	松尾　かずな
（20分）	③「限局性学習症と学校不安に伴う回避行動との関連 ―学校生活における視点から」	
	社会福祉法人杏嶺会一宮医療療育センターセンター長	上村　治
（20分）	④「医療・学校・地域が手を取り合う	
	～オーバードーズする子どもへの包括的な支援を考える～」	
	一般社団法人愛知県薬剤師会会計理事	橋村　孝博
（30分）	⑤「子どもの困難を“トラウマ”から読み解く	
	：学校医が担うトラウマインフォームドケア」	
	藤田医科大学医学部精神神経科学講座准教授	古橋　功一
（20分）	ディスカッション	
16：10	休憩	
16：20	【特別講演】（鼎談）	16階　タワーズボールルーム
	「苦かったり甘かったり！人生とチョコレート！	
	～失敗しても温めれば何度でもやり直せる！～」	
	講　師：QUONチョコレート代表	夏目　浩次
	座　長：愛知県医師会　副会長	大石　明宣
	愛知県医師会　副会長	小林　邦生
17：30	【閉会】	
18：30	【懇親会】	16階　タワーズボールルーム
20：30	【アトラクション】	ピアニスト・医師　沢田　蒼梧

令和８年８月 20 日更新

令和８年度 第 57 回全国学校保健・学校医大会　in　愛知

分科会演題一覧

※演題名・発表者・発表順は変更になる場合がありますので、予めご了承願います。

第１分科会「からだ・こころ（１）」

発表順	演題名	発表者	
1	学校健診における心雑音の聴取を契機に新たに心疾患と診断・管理された児童・生徒の頻度に関する検討	神奈川県	堺　浩之
2	愛知県小児腎臓病専門施設における、学校検尿有所見者の 10 年間の縦断的追跡調査	愛知県	後藤　芳充
3	学校腎臓検診による糖尿病スクリーニング －岐阜県における 18 年間の成績－	岐阜県	田下　秀明
4	学校検尿における腎臓病・糖尿病連携の取り組み ―愛知県学校検尿マニュアル改訂を中心に―	愛知県	濱島　崇
5	学校健康診断で指摘された肥満を契機にみつかった低脂血症の１例	神奈川県	橋本　卓史
6	秋田県における学校健診の成長曲線利用状況	秋田県	武田　修
7	成長曲線を活用した学校健診－令和７年度京都市立学校に通う児童生徒の健康管理の充実に向けた取り組み－	京都府	木﨑　善郎
8	当地区で作成した「学校健診（内科）における脱衣に関する指針」の内容と実践について	愛知県	大澤　正彦
9	広島県における学校健診体制維持の現状と課題	広島県	森　美喜夫
10	徳島県小児健康管理システムの課題 －いかに２次検診受診率を向上させるか－	徳島県	田山　正伸

第２分科会「からだ・こころ（２）」

発表順	演題名	発表者	
1	不登校児童生徒への多職種連携による支援の現状と学校医の役割 ―早期介入と健康支援の課題抽出に向けて―	東京都	弘瀬　知江子
2	訪問看護サービスを使った不登校支援 －不安系とトラウマ系の違い－	三重県	梅本　正和
3	大阪市教育委員会のとりくみ、Osaka Education Network（OEN）を活用した児童生徒のメンタルヘルス教育の実践	大阪府	久保田　恵巳
4	医療教育コーディネーターの学校現場における役割	東京都	秋山　千枝子
5	郡山市医師会主導による中学校での性の健康教育 ～産婦人科医師講師派遣事業～	福島県	桜井　秀
6	がん教育、性教育への医師会としての取り組み	東京都	川上　一恵
7	豊川市における HPV ワクチン、がん予防につなげる取り組み ～「中学生のみんなに知ってほしいがんのはなし」プロジェクトについて～	愛知県	岩井　勝
8	今こそ B 型肝炎ワクチン	愛知県	杉浦　時雄

令和８年８月 20 日更新

第３分科会「からだ・こころ（３）」

発表順	演題名	発表者	
1	兵庫県医師会学校保健委員会における学校健診への理解促進を目的とした啓発動画の作成について	兵庫県	松岡　弘高
2	岡崎市・幸田町における行政・教育機関との連携による学校保健活動の推進～医師会の立場からみえた地域課題解決への歩み～	愛知県	鈴木　研史
3	学校健診時の側弯チェックの一工夫 ―　側わんチェックシートの活用　―	広島県	松本　治之
4	「見つける検診」から「育む教育」へ ～子どもロコモに立ち向かい、100 年歩ける身体を創る３つの提言～	愛知県	河村　英徳
5	子どもロコモと姿勢教育	埼玉県	林　承弘
6	運動器検診１０年の成果	千葉県	新井　貞男
7	横浜市における運動器検診への取り組みについて（ScolioDevice の検討も含めて）令和８年 Ver.	神奈川県	水谷　隆史
8	学校医制度に学校スポーツ相談医(仮称)は必要か？	大阪府	長谷川　利雄

第４分科会「耳鼻咽喉科」

発表順	演題名	発表者	
1	インクルーシブ教育における難聴の児童生徒への支援手段・体制整備の実践	岡山県	片岡　祐子
2	岐阜県難聴児支援センターでの一側性難聴に対する取り組み	岐阜県	小原　奈津子
3	就学時・学校健診を契機として当センターで診断された両側難聴児の検討	愛知県	江﨑　友子
4	徳島聴覚支援学校における夏期補聴相談事業について	徳島県	島田　亜紀
5	中等度難聴と境界知能を併発した症例 -多職種連携による支援で自己実現に至るまで-	東京都	池田　洋子
6	静岡県における児童・生徒の睡眠呼吸障害に関するアンケートの調査結果	静岡県	植田　洋
7	子どもの睡眠が今、危ない！	愛知県	中田　誠一
8	学校医と養護教諭との連携に関するアンケート結果について	福岡県	上村　弘行
9	耳鼻科健診と保健調査票	東京都	市川　菊乃
10	耳鼻咽喉科学校健診に関わる課題と将来の展望	神奈川県	朝比奈　紀彦

令和８年８月 20 日更新

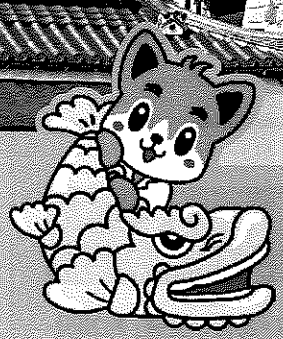
第５分科会「眼科」

発表順	演題名	発表者	
1	子どもたちの過矯正眼鏡処方を減らすために	岩手県	鈴木　武敏
2	江戸川区立小・中学校の平成 30 年以降の裸眼視力の推移について	東京都	田中　寧
3	学校環境要因と小学生の裸眼視力低下の割合の関連	大阪府	丸山　耕一
4	眼科学校健診を支える保健調査票の現状と標準化の必要性	愛知県	近藤　永子
5	大阪府における学校健診に関する予備調査の実施	大阪府	中島　伸子
6	視力と目の「それが知りたい」「ここが分からない」 眼科校医への疑問と質問；近年の傾向、対応の A. B. C. と考え方	神奈川県	鈴木　高遠
7	DX を活用した持続可能な眼科学校保健の再構築 ―持続性と実効性の両立を目指して―	鹿児島県	宮本　純孝
8	子どものコンタクトレンズ装用について	神奈川県	宇津見　義一
9	令和７年度（2025 年度）児童・生徒のコンタクトレンズ使用状況調査	神奈川県	飯野　直樹
10	5 歳児健康診査への視覚検査導入による弱視発見効果	山形県	林　思音
11	眼鏡が守るとき守らないとき ―「眼鏡は危険」とする根拠文献の再検討―	愛知県	戸塚　伸吉
12	日本の高校生におけるソーシャルメディア利用と眼瞼・眼周囲の美容外科手術への関心：横断研究	兵庫県	坂本　達也

令和8年度 第57回 全国学校保健・学校医大会 in 愛知

The 57th Japan School Health and School Physician Annual consultation in Aichi

日時 令和8年 11月21日(土) 10:00～



テーマ

君は、君のままでいい

～多様性の時代に生きる子どもたち～

ホームページはこちら!!

会場 名古屋マリオットアソシアホテル

[愛知県名古屋市中村区名駅1-1-4] [TEL：052-584-1111（代表）]

参加者 日本医師会会員及び学校保健に関係のある専門職の者

主催：日本医師会　　担当：愛知県医師会

令和8年度
第57回 全国学校保健・学校医大会 in 愛知

プログラム

分科会

第１分科会 ~ 第３分科会「からだ・こころ」
第４分科会「耳鼻咽喉科」
第５分科会「眼科」

開会式・表彰式　次期当番県医師会長挨拶

シンポジウム

①不登校とその背景
②多様な「性」を生きる子どもとむきあう ～情報社会で、いま、おきている課題とは～
③限局性学習症と学校不安に伴う回避行動との関連 ー学校生活における視点から
④医療・学校・地域が手を取り合う
　～オーバードーズする子どもへの包括的な支援を考える～
⑤子どもの困難を“トラウマ”から読み解く：学校医が担うトラウマインフォームドケア

ディスカッション

名古屋マリオットアソシアホテル

特別講演

演題：苦かったり甘かったり！人生とチョコレート！
～失敗しても温めれば何度でもやり直せる！～

QUON チョコレート代表　夏目　浩次 氏

▶「障害があるとまともに働けない」というロジックをぶち壊す！
▶一人一個ずつプロになればいい！
▶雇う側だって、働く側だって、失敗してもいい！大切なことは、目標に向かってもがき続けること。
▶誰も置き去りにしない社会を。誰も置き去りにされない世界を。

QUONチョコレート代表の夏目浩次氏は、障害のある方々を対等な立場で雇用し、最低賃金を上回る給与の実現を目指して、山あり谷ありの困難を乗り越えてきました。一人ひとりの多様な特性の凸凹を掛け合わせて強みに変え、一流のショコラティエに肩を並べるトップブランドを目指す挑戦の歩みをご紹介します。

懇親会

※大会終了後のオンデマンド配信はございません。※プログラムは変更になる場合があります。

会場アクセス

電車をご利用の場合

JR名古屋駅に直結。
ホテルは「JRセントラルタワーズ」の15Fです。

空港からお越しの方

中部国際空港（セントレア）

名鉄空港特急「ミュースカイ」約28分

名鉄名古屋駅

徒歩３分

名古屋マリオットアソシアホテル
名古屋ー中部国際空港間を 28 分で結びます。

県営名古屋空港

空港バス「あおい交通」約20分
名鉄バス約35分

名古屋駅
（ミッドランドスクエア前or名鉄バスセンター）

徒歩 1~5 分

名古屋マリオットアソシアホテル